

男女共同参画が実現すると…!

「女だから」と
生き方を
縛られたくないわ



性別に関係なく誰もが個性と能力を
発揮できる社会の実現には、
生活の中の男女平等を阻害する要因への
「気づき」が大切です。
それを少しずつ解決していくことが、
きっとあなたらしく輝ける未来への
第一歩につながるはずです。

「男らしく〜」
言われるのは
ちよつと
辛いです。



家庭では

- 家事や育児、介護などは男女が協力して分担しています
- 物事を決めるときには、男女が意見を出し合って決めています
- 子供の自主性と個性を尊重し、多様な生き方を認める子育てをしています
- DVはありません



うちでは夫婦交代で食事の準備・後片付けをします。
年末の大掃除は家族総出で取り組みます。



地域では

- 性別役割分担意識に基づくきつたりや慣習にとらわれず、男女一人ひとりの考え方が尊重されています
- 地域の役員・活動には男女が共に参画し、住みよい地域づくりに取り組んでいます
- 地域の方針決定に男女が対等に参画し、活力ある地域社会を築きます
- 世代や性別を超えた交流を通して、地域社会の一員としての連帯感やボランティア意識の高揚が図られ、明るく住みよい地域づくりが進められています
- 子育てや介護は地域で支え合い、安心して安全な地域づくりが進められています



私の地区では女性の町内会会長を中心にとりま
まとまりが良く、夏祭りなどのイベントでは、
老若男女みんなで力を合わせて盛り上げます。

“女性も男性も”

学校では

- 発達段階に応じて、友達や家庭との人間関係のあり方を学ぶとともに、男女がお互いの人格を尊重することの大切さを学びます
- 進学や就職において、性別にかかわらず個人の意思や能力を尊重した多様な進路選択がなされています
- PTAの役員・活動には男女が共に参画しています
- 育児や介護、ボランティア活動など、学校の実態や生徒の発達段階及び特性等に応じた体験学習を通じて、社会の一員として協力しあう態度が育まれています



僕たちの部活動は男子のマネージャーが支えてくれます



職場では

- 採用や昇進、賃金、退職などのあらゆるステージで男女格差がなく、個性と能力が十分発揮できる働き甲斐のある職場です
- 方針決定には男女が対等に参画し、活力のある経営が行われています
- 男性も女性も仕事と生活との両立ができ、働きやすい職場環境です
- セクシュアルハラスメントはありません



私の職場では、男性も育児休業や介護休業を積極的に
取っています。仕事も生活も満喫しています。

Forum

夫婦のパートナーシップの在り方を学ぶ 男女共同参画週間フォーラムを開催

男女共同参画週間(6月23日~29日)にちなんで、男女共同参画社会を考えるフォーラムが6月29日、サンエールかごしまで開催されました。第1部ではリタイア後の夫婦関係に関する講演会、第2部では父親の育児・家事参加についての調査報告があり、49人が参加しました。

第1部 講演会

「リタイア後はこうアライ! のびのびパートナーシップのすすめ」
講師の石蔵文信さん



第1部の講演会では、大阪樟蔭女子大学学芸学部健康栄養学科教授の石蔵文信さんが「リタイア後はこうアライ! のびのびパートナーシップのすすめ」のテーマで話しました。

循環器科専門医として主に男性更年期外来を担当、「妻の病気の9割は夫がつくる」「男もつらい! 男性更年期」などの著書もある石蔵さんは、臨床例やアンケート結果などから、増えている熟年離婚の主な理由として①夫が家事を手伝ってくれない②暴言をはく③甲斐性がないなどがあり、「妻の日常の不満が積もり積もって爆発、離婚に至る」と説明。定年後の夫と一緒にいると体がもたないと訴える「亭主在宅症候群」の女性が多いことを紹介しました。

一方、男性の定年前のうつは多すぎるストレス、定年後のうつは少なすぎるストレスが原因として、「女性は家事があるから元気。男性は毎日できることを見つける必要がある」と指摘。男性に「妻を上から目線でなく対等な一個人として見て、まずは妻を名前と呼ぶ。家事を身につけて自立する。妻に「ありがとう」「ごめんなさい」「愛してる」の言葉をかける。結婚記念日や妻の誕生日を忘れず、花を贈る。孫の面倒を見るイクジイになるう」と呼びかけました。

第2部 調査研究支援事業報告会

「父親の育児・家事参加に影響する要因の検討」

第2部では、鹿児島市男女共同参画センター調査研究支援事業として、臨床心理士や大学院生らの「インタラクショナル・ビュー研究会」による「父親の育児・家事参加に影響する要因の検討」の調査結果が報告されました。調査は今年2~3月、県内の保育園7園にアンケート用紙を配って実施。母親98人、父親81人から回答がありました。

報告では、父親が育児や家事を行う際に母親がマネージャー的な役割を果たそうとして父親の関与に厳しい評価を下し、他者の援助を遠ざけようとする「ゲートキーピング」(門番)の問題を中心に紹介。「父親の育児参加は母親や子どもの発達にも肯定的な影響を与える。母親が父親の家事・育児をねぎらい、賞賛することで、ゲートキーピングが父親の参加を広げる効果もある」と指摘しました。



リタイア後のパートナーシップについての講演会



父親の育児・家事参加について報告したインタラクショナル・ビュー研究会のメンバー

Happy Smile seminar

サンバのリズムに乗ってパパと踊ろう ベビーダンスで赤ちゃんすやすや



赤ちゃんを抱っこしてベビーダンスに夢中のパパたち

ハッピースマイルセミナー

「パパ大好き♡泣く子も笑うハッピースマイルセミナー」と題して7月13日、サンエールかごしまで父親のためのベビーダンスセミナーが開かれました。

保育士で日本ベビーダンス協会認定インストラクターの小島美幸さんを講師に迎え、生後6か月~1歳半の赤ちゃん9人と父親が参加。赤ちゃんを抱っこひもで抱っこして、サンバの曲に合わせて、ステップを踏んだりして、親子一緒にベビーダンスを楽しみました。はじめはぐずっていた赤ちゃんも、やがて全員すやすやと眠ってしまい、ベビーダンスの不思議なパワーを実感しました。

講師の小島さんは「お父さんのエクササイズにも効果的なベビーダンスで親子のコミュニケーションを深めてほしい」とアドバイスしました。

ベビーダンスの前に赤ちゃんと一緒にリラックス

Let's Cooking

お父さんと一緒にクッキング 夏休みの楽しい思い出に



一緒に料理を楽しむお父さんと子どもたち

父親と子どもと一緒に料理を作り、家族の協力関係を深めようと、恒例の「パパと一緒にキッズクッキング」が7月27日、サンエールかごしまで開催されました。

参加した小学生とお父さんの12組25人は、料理研究家の上山友子さんの指導でタコライス、コーンクリームスープ、ヨーグルトパバロアの3品の料理に挑戦。中には料理は初めてというお父さんたちもいて、最初はぎこちない感じでしたが、次第に楽しそうな表情に。木元哲男さん(48)は小学3年の天花さんと一緒に参加。「娘の夏休みの思い出づくりのために参加しましたが、料理が意外と楽しいことを知りました」と語っていました。

上山さんは「食を通して子どもたちの生きる力を育ててほしい」とアドバイスしました。